

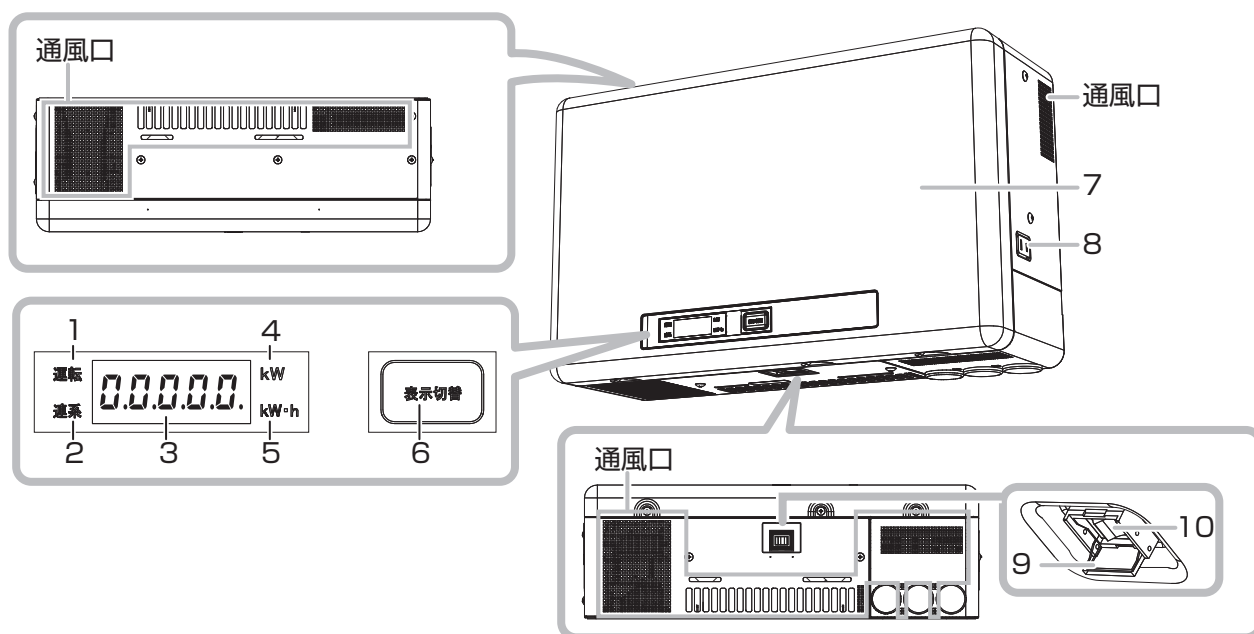
KPK-A30/KPK-A40/KPK-A55

停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

本紙は停電時のパワーコンディショナの機能および使用方法を説明しています。安全にお使いいただくために、本紙とあわせて、取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」を必ずお読みください。

自立運転は、非常時の運転モードです。停電などで電力会社からの電力供給が停止したときに、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。自立運転時は、電力会社に売電されず、停電用コンセントに接続した電気製品に太陽光により発電された電力を供給します。

各部の名前と働き



- 1 運転ランプ（青）**
運転中に点灯します。
- 2 連系ランプ（緑）**
連系運転中に点灯します。
- 3 表示部**
発電電力やエラーコードなどを表示します。
- 4 発電電力表示ランプ [kW]（緑）**
表示部に発電電力が表示されているときに点灯します。
- 5 積算電力量表示ランプ [kW・h]（緑）**
表示部に積算電力量が表示されているときに点灯します。
- 6 表示切替ボタン**
スイッチを押すごとに、表示部の表示が切り替わります。
- 7 フロントカバー**
- 8 停電用コンセント（本体側面）**
自立運転時、太陽光発電した電力を供給します。

- 9 運転スイッチカバー**
図の矢印の方向に開いてください。



- 運転スイッチの操作後は、カバーを必ず閉じてください。

- 10 運転スイッチ**
パワーコンディショナの運転開始（「オン」）／停止（「オフ」）を行います。



- 夜間など太陽電池が発電していないときは、すべての表示およびランプが消灯し、操作できません。
- 停電用コンセントは、パワーコンディショナ本体側面以外に、壁面にも設置されている場合があります。

連系運転と自立運転について

停電時の使い方（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止したとき、システムを自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセント（本体側面および壁面）から使用することができます。

●（表示部に「E 1-0.0」が表示されている場合）

連系運転と自立運転を手動で切り替える設定になっています。手順 1～4 を行ってください。

（表示部に発電電力が表示されている場合）

連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定になっています。

自動的に自立運転が開始されていますので、手順 3、4 のみ行ってください。

● 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。

● 停電時に備えて、日頃から自立運転を確認してください。

1 太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする

2 運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする。

- 運転スイッチの操作は 1 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。

- 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチッカチッカと動作音がします。



3 運転ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する



（上記数値は例です）

4 停電用コンセント（本体側面および壁面）に、使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。（⇒ 取扱説明書）

- 壁面に設置した停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。

- 本体側面の停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。

- 停電用コンセント（本体側面および壁面）の合計消費電力は、下記指定の電力以下になるようにしてください。

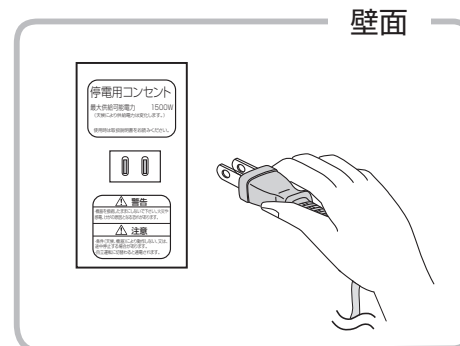
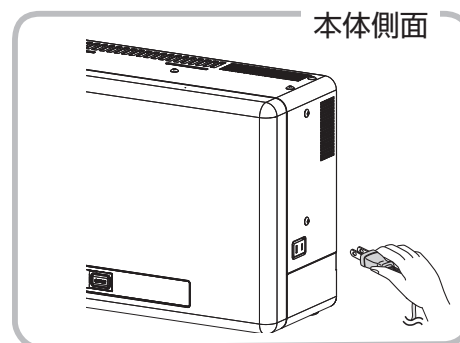
–KPK-A30、KPK-A40 の場合：2000VA 以下

（AC100V で最大 20A 以下）になるようにしてください。

–KPK-A55 の場合：2750VA 以下（AC100V で最大

27.5A 以下）になるようにしてください。

- 表示部には、現在の発電電力が表示されます。



（1.24kW 分の負荷接続時のイラストです）

連系運転と自立運転について（つづき）

自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。

（連系運転と自立運転を手動で切り替える設定になっている場合）

太陽電池が発電を開始してから、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にして自立運転を再開させてください（⇒ 1）。

- 表示部に「E 1-00」が表示されていたら、太陽電池は発電を開始しています。

（連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定になっている場合）

太陽電池が発電を開始すると、自動的に自立運転が再開されます。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

-
- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを「オフ」にしてください。再度「オン」にすると、自立運転を再開します。（⇒ 1）
 - 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。

保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。

- ① 運転スイッチを「オフ」にする（⇒ 1）
- ② 停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器を減らす
- ③ 運転スイッチを再度「オン」にする（⇒ 1）

復電時の操作（連系運転への切り替え）

（連系運転と自立運転を手動で切り替える設定になっている場合）

復電後は、手動で連系運転に切り替える必要があります。その場合、手順 1～4 を行ってください。

- 夜間に復電した場合は、手順 2 のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器は外してください。

（連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定になっている場合）

復電後は、自動的に連系運転に切り替わります。その場合、手順 4 のみ行ってください。

- 表示部に「HLD」が点滅される場合は、一度運転スイッチを「オフ」にし、再度「オン」にすると、連系運転を開始します。
- 停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器は外してください。

1 運転スイッチを「オフ」にする

- 運転スイッチの操作は 1 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- 表示部に「E1-0.0」が表示されます。

2 太陽光発電用ブレーカを「オン」にする

- 表示部にカウントダウンが表示、または「HLD」が点滅します。



3 運転スイッチを「オン」にする

- 運転スイッチの操作は 1 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- カウントダウンが表示されている場合は、カウントダウン終了後に連系運転を開始します。

4 運転ランプ、連系ランプおよび発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

- 現在の発電電力が表示されます。



（2.2kW 発電時のイラストです）